



高分子の構造とはたらき

4月22日(月)、1年生にとって最初の特設科学講座が開催されました。「高分子の構造とはたらき」というテーマで大阪大学名誉教授の畑田耕一先生より、分子のはたらきや性質について分かりやすく講義をしていただきました。また、高吸水性ポリマーを使った実験、ゴムを温めると張力が変わる実験などを見せていただきました。化学のみならず、学生としての心構えなど、幅広いテーマについてユーモアを交えて語っていただき、生徒たちの笑い声が絶えない2時間でした。

顕微鏡下の化石

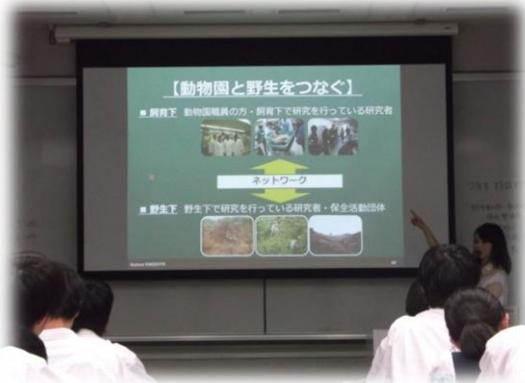
5月17日(金)、大阪教育大学名誉教授の菅野耕三先生をお招きし、「顕微鏡下の化石」というテーマで講義をしていただきました。様々な鉱石、三葉虫やアンモナイトの化石など、数多くの貴重な資料を見せていただきました。また、プレートテクトニクス、地質学、古生物学など様々なテーマに加え、最後は防災に関するお話をしていただきました。阪神大震災の際に本校校舎が被害を受けた当時の様子や、地震や大雨など災害に遭ったときの対応などのお話に生徒たちは熱心に聞き入っていました。



野生動物・動物園動物の繁殖学

5月27日(月)、2年生対象の本年度1回目の特設講座が実施されました。

本校の卒業生である、京都大学野生動物研究センター助教の木下こづえ先生をお招きし、「野生動物・動物園動物の保全繁殖学」と題して講義を行いました。木下先生は中央アジアを中心にユキヒヨウの生態についてフィールドワークを行われており、個体の糞から様々な情報を得て、繁殖に関わる分析を行われています。また、動物園で飼育されている動物の繁殖についても研究されており、動物園での様々なご経験について興味深いお話をいただきました。



森と木と建築と'19

5月に入り、1年生を対象に“森と木と建築と”が4回シリーズで実施されました。まず15日(水)、県みどり公社の職員 岡田茂先生より、森の役割と木の特性について講義を受け、岡田先生の手作りキットを使った木製カードホルダーを作成しました。つづく18日(土)は校外研修として、朝来市の日林(株)の林業現場を見学し、さらに建築素材としての木材利用の観点から、民家“佐中千年家”と、バイオマスエネルギー供給センター・朝来市バイオマス発電所、主講師として招聘した建築家 藤田宜紀先生のグループが間伐材を有効活用するために開発した「ki-トラス」を利用した大型木造ドーム「さるびあドーム」(福崎町)も合わせて見学し、木材の持つ可能性を学びました。22日(水)は兵庫県リテージマネージャーで建築家の森島吉幸先生から地域の歴史的建造物をいかに保全・活用していくかについて、藤田先生からは「世界の木造」についてお話を頂き、最終回の29日(水)は藤田先生より、地球環境における森の役割や森を保全するための木の活用法、さらに日本の木造建築について学び、今後の環境問題・社会問題への取り組み方を考えました。

